平成２７年度　事務事業評価シート

章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	Ⅲ	地域医療の充実
目標		市民がいつでも適切な医療サービスを受けることができるよう地域医療体制の確保と救急医療体制を整備する。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	小児救急医療体制（西胆振医療圏において輪番制により、小児科医が休日・夜間等における小児の重篤患者への対応による通年24 時間体制）	時間体制	未実施	24	24	24	24	24	24		24
指標②	休日等の歯科医院の開院日数	日	24	24	24	24	24	20	24		24
指標③	広域救急医療対策の日数（西胆振医療圏において輪番制により、休日・夜間等における重篤患者への対応による通年24 時間体制）	時間体制	24	24	24	24	24	24	24		24
指標④	救急救命士の養成者数	人	16	19	20	21	20	21	21		18
指標⑤	普通救命講習の受講者数	人	1,973	5,454	6,263	6,892	7,962	8,934	9,613		6,400

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　地域医療体制の確保	①　地域医療体制の確保	･市民の多様な医療需要に応えるため、かかりつけ医の普及を図るとともに、医療機関の機能分担と連携の促進に努め、きめ細かな医療体制の確立を図ります。 ･休日における歯科医療体制の充実を図ります。 ･厚生年金病院が公的な病院として存続できるよう地域一体となり国へ要請を行なっていきます。
1-②	1　地域医療体制の確保	②　包括的な医療サービスの提供	･高齢化の進行や生活習慣病の増大など疾病構造の変化などにより、在宅医療や緩和ケア（病気の苦痛の軽減）の必要性が高まっていることから、患者や家族の意向を尊重したサービスの提供を推進します。
2-①	2　救急医療体制の整備	①　救急医療体制の整備	･医療機関の協力を得ながら、休日･夜間における救急患者に対する初期救急から2次救急までの救急医療体制の保持と質的向上に努めます。 ･小児科医による24時間救急医療体制の整備充実を図ります。 ･救命率向上のため、正しい心肺蘇生法が実施できるよう普通救急講習を行うなど、救急に関する意識の普及啓発を推進します。 ･主要な公共施設に自動体外式除細動器を整備し、運動中などの突然死の防止を図ります。
2-②	2　救急医療体制の整備	②　救急救命体制の整備	･救急救命士を養成し、適正配置に努めるとともに、高規格救急車、救急資機材の充実を図り、高度な救命処置ができる救急体制の整備に努めます。

Plan ・ Do

事業概要

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業の目的
1	1-①	地域医療対策事業 12311003	保健福祉部	健康推進G	S 50	ー	ソフト	一般会計	歯科に関する急患診療医制の定着化を図り、市民の急病患者の医療確保を図ることを目的とする。また、室蘭歯科医師会と連携して地域歯科保健の充実を図る。
2	2-①	救急医療対策事業（小児救急医療支援事業） 12321002	保健福祉部	健康推進G	H18	ー	ソフト	一般会計	小児重症救急患者に対する医療を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。

NO	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等
1	H25	休日の歯科救急患者	休日及び年末年始の歯科救急診療を室蘭歯科医師会に委託して実施した。また、室蘭歯科医師会が行う「口腔がん検診」、「いい歯の日イベント」に協賛した。	
1	H26	上記のとおり	上記のとおり	
1	H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	
2	H25	小児重症救急患者	西胆振医療圏2病院の輪番制により、休日及び夜間の診療体制を整え、小児重症救急患者の診療確保をするための事業に対して費用の一部を負担した。 【対象範囲】西胆振6市町 【対応病院】日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院	
2	H26	上記のとおり	上記のとおり	
2	H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	

事業の成果、目標

NO	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
1	利用人数	人	57	63	74	74	74	74
1	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
2	診療体制を確保した日	日	365	365	366	365	365	365
2	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

NO	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案
1	国庫支出金							
1	道支出金							
1	地方債							
1	その他							
1	一般財源		598	672	673	675	675	675
1	合　計		598	672	673	675	675	675
2	国庫支出金							
2	道支出金							
2	地方債							
2	その他	保健衛生費寄付金（室蘭・登別総合健診センター特定寄付分）		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
2	一般財源		2,199	964	987	988	988	988
2	合　計		2,199	2,364	2,387	2,388	2,388	2,388

Check / Action

NO		第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
1	H25以前	これまでの歯科に関する急患診療医制の定着化に加え、地域歯科保健の充実を図るために、室蘭歯科医師会が行う検診やイベントに協力した。	維持	救急医療は市民の健康と生命を守るために必要不可欠である。医療資源を効果的に活用し市民が利用しやすいものとすることは、市の役割である。	歯科救急患者に対する診療所の確保は必要不可欠なことから、今後についても事業を継続していく。
1	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
1	H27	上記のとおり			
2	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	救急医療は市民の健康と生命を守るために必要不可欠である。医療資源を効果的に活用し市民が利用しやすいものとすることは、市の役割である。	小児救急体制の確保は必要不可欠なことから、今後についても事業を継続していく。
2	H26	上記のとおり			
2	H27	上記のとおり			

Plan ・ Do / Check / Action

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業の目的	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
3	2-①	応急手当普及啓発活動資器材整備事業 12321003	消防	警備G	H17	―	ソフト	一般会計	市民を対象に、救命のための一次救命処置の知識・技術を普及するために開催する各種救命講習会に使用する資器材の整備を図ることを目的とする。	維持	市民の救命講習会は救急隊到着前の一次救命処置であり、救命のためには不可欠な行為であることから、この講習会で使用する資器材の整備、更新を図ることは必要である。	資器材のうち、経年劣化の著しいものから順次更新整備するとともに、一人でも多くの市民が心肺蘇生法等を行うことができるよう、幅広い市民を対象とした救急講習会を実施していくことにより、救急車到着前に必要な処置（救命処置）を行うことができる市民の拡大を図っていく。
4	2-①	救急医療対策事業（救急医療啓発普及事業） 12321004	保健福祉部	健康推進G	H10	―	ソフト	一般会計	一次救急医療を要する患者（かぜによる高熱や家庭では処置できない切り傷等の症状で診察・治療を必要とする患者）に対する医療を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。	維持	救急医療は市民の健康と生命を守るために必要不可欠である。医療資源を効果的に活用し市民が利用しやすいものとすることは、市の役割である。	一次救急体制の確保は必要不可欠なことから、今後についても事業を継続していく。
5	2-①	救急医療対策事業（広域救急医療対策事業） 12321005	保健福祉部	健康推進G	Ｓ52	―	ソフト	一般会計	二次救急医療を要する患者（入院や手術を必要とする患者）に対する医療を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。	維持	救急医療は市民の健康と生命を守るために必要不可欠である。医療資源を効果的に活用し市民が利用しやすいものとすることは、市の役割である。	二次救急体制の確保は必要不可欠なことから、今後についても事業を継続していく。
6	2-②	救急救命士養成事業費 12322002	消防	総務G（消防）	H8	―	ソフト	一般会計	救急救命士を養成し、救急救命体制の強化を図ることを目的とする。	維持	救急救命体制の強化のため、今後も継続して養成を図る必要がある。	救急救命士養成計画に基づき養成する。

NO	年度	対象者等（※ハード事業の場合は、施設名を記載）	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況	
3	H25	各種救命講習会参加者	各種救命講習会で使用する心肺蘇生訓練人形を整備した。【心肺蘇生訓練人形を使用した講習会】一般救急講習会、普通救命講習会Ⅰ、普通救命講習会Ⅱ、普通救命講習会Ⅲ、上級救命講習会	登別市応急手当普及啓発活動実施要綱	H25以前	各種講習会で使用する人形について、一般的な耐用年数を経過していることから、応急手当普及啓発活動資器材整備計画（平成17年度開始）に基づく、計画的な購入を行っている。
3	H26	上記のとおり	【心肺蘇生訓練人形を使用した講習会】一般救急講習会、普通救命講習会Ⅰ、普通救命講習会Ⅱ、普通救命講習会Ⅲ、上級救命講習会	上記のとおり	H26	上記のとおり
3	H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	H27	上記のとおり
4	H25	一次救急医療を要する患者	登別・室蘭市内の5病院の輪番制により、休日及び夜間の診療体制を整え、一次救急医療を要する患者の診療を確保するための事業に対して費用の一部を負担した。【対象範囲】登別市・室蘭市【対応病院】市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、ＪＣＨＯ登別病院、大川原脳神経外科病院		H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。
4	H26	上記のとおり	上記のとおり		H26	事業内容に変更はないが、医師不足やウォークイン受診による患者数の増加に伴い、負担金の積算方法をを見直した。
4	H27	上記のとおり	上記のとおり実施中		H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。
5	H25	二次救急医療を要する患者	西胆振医療圏7病院の輪番制により、休日及び夜間の診療体制を整え、二次救急医療を要する患者の診療を確保するための事業に対して費用の一部を負担した。【対象範囲】西胆振６市町【対応病院】市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、ＪＣＨＯ登別病院、大川原脳神経外科病院、伊達赤十字病院、洞爺協会病院		H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。
5	H26	上記のとおり	上記のとおり		H26	上記のとおり
5	H27	上記のとおり	上記のとおり実施中		H27	上記のとおり
6	H25				H25以前	救急救命士養成の検討を行った。
6	H26	消防職員	一般財団法人救急振興財団救急救命士東京研修所で職員１名が資格を取得した	救急救命士養成計画に基づく	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。
6	H27	上記のとおり	札幌市消防学校救急救命士養成所へ職員１名派遣予定。	上記のとおり	H27	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。

事業の成果、目標

NO	指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
3	訓練人形整備数 ※人形は、講習の目的により機能が異なる。	体	1	0	1	1	1	1
3	各救命講習会参加者	人	972	1,010	1,000	1,000	1,000	1,000
4	診療体制を確保した日	日	365	365	366	365	365	365
4	―	―	―	―	―	―	―	―
5	診療体制を確保した日	日	365	365	366	365	365	365
5	―	―	―	―	―	―	―	―
6	救急救命士の養成者数	名		1	1	1	1	1
6	―	―	―	―	―	―	―	―

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】

NO	名称	H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案
3	国庫支出金						
3	道支出金						
3	地方債						
3	その他						
3	一般財源	195	0	233	255	255	255
3	合計	195	0	233	233	233	224
4	国庫支出金						
4	道支出金						
4	地方債						
4	その他						
4	一般財源	1,601	3,423	3,541	3,447	3,447	3,447
4	合計	1,601	3,423	3,541	3,447	3,447	3,447
5	国庫支出金						
5	道支出金						
5	地方債						
5	その他						
5	一般財源	8,206	8,228	8,300	8,305	8,305	8,305
5	合計	8,206	8,228	8,300	8,305	8,305	8,305
6	国庫支出金						
6	道支出金						
6	地方債						
6	その他						
6	一般財源		3,118	3,162	2,791	2,791	2,791
6	合計	0	3,118	3,162	2,791	2,791	2,791

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																Check			Action
									事業概要					事業の成果、目標									各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】								第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H27)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案					
7	2-②	高規格救急自動車更新事業 12322005	消防	総務G(消防)	H26	ー	ハード	一般会計	老朽化した高規格救急自動車を更新することにより、救急救命体制の充実を図ることを目的とする。	H25				高規格救急自動車更新	台		1			1		国庫支出金								H25以前	登別温泉支署配置の高規格救急自動車更新に向けて検討した。	維持	救急救命体制の強化のため、今後も継続して使用期間10年を目途にして更新を図る必要がある。	消防車両等更新計画に基づき更新する。
																						道支出金					29,000						
										H26	市民	高規格救急自動車１台を更新した。										地方債			27,300		5,300			H26	高規格救急自動車１台を更新した。			
																						その他											
										H27				ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	一般財源			533		2,069			H27				
																						合 計		0	27,833	0	0	36,369	0					